

屋久島世界遺産地域連絡会議
世界遺産地域管理計画改定作業部会の設置について

1. 目的

屋久島世界遺産地域を包括的に管理するにあたっての上位計画である世界遺産地域管理計画（以下「管理計画」という。）については、2012年10月に改訂してから10年近くが経過しており、遺産管理にかかる科学的知見の蓄積や、遺産地域を取り巻く社会状況の変化を踏まえて、改定を検討する時期を迎えている。また、2023年には、屋久島の世界遺産登録から30年を迎えるが、将来にわたって資産を適正に保管理していくためには、関係行政機関や科学者だけでなく、地元住民や地元関係者が世界遺産地域を自分たちのものとしてとらえ、その管理に積極的に関わってもらうことが理想である。

以上のことから、「地域の主体性」と「協働」の視点を重視して、世界遺産地域連絡会議下に世界遺産地域管理計画改定作業部会（以下「作業部会」と言う。）を設置し、科学委員会等の助言を受けながら、管理計画の改訂作業を進めていく。

2. 検討事項

- ・管理計画改定にかかる事項（特に、地域との連携・協働、自然の適正な利用、環境教育にかかる事項を中心とする）
 - ・管理計画に関係するその他計画との調整にかかる事項
- ※科学的内容に関しては、科学委員会の助言を受けることとする

3. 構成員

<管理機関>

九州地方環境事務所（国立公園課長）
九州森林管理局（計画課長）
鹿児島県（自然保護課長、観光課長、熊毛支庁屋久島事務所総務企画課長）
鹿児島県教育委員会（文化財課長）
屋久島町（観光まちづくり課長）

<地元関係機関・団体>

公益財団法人屋久島環境文化財団（事務局長）
屋久島レクリエーションの森保護管理協議会（事務局長）
屋久島町議会
屋久島観光協会（事務局長）
屋久島観光協会ガイド部会（ガイド部会長）

4. アドバイザー（島内・島外有識者）

日下田 紀三（写真家）
長井 三郎（民宿 晴耕雨読）
土屋 俊幸（東京農工大学 名誉教授、科学委員会委員）
奥山 正樹（鹿児島大学 特任教授）